

無人駅

新技術と駅

コンセプト

「**利便性**」「**安全性**」「**環境**」「**災害対策**」の4つの要素を軸に、無人駅ならではの**特色**を活かした設計を行いました。

具体的には、**駅内の導線**を分かりやすく表示し、誰もが迷わず移動できるよう工夫しました。

混雑を緩和し、安全性を確保するため、駅内のスペースを広く確保しました。

また、非常時には**避難所**として機能し、空いたスペースを備蓄品倉庫として活用することで災害に備えられるように工夫しました。

清掃ロボットの導入により、人件費を削減し、環境負荷も低減します。

さらに、地域の**シンボル**となるような、印象的な外観設計を取り入れました。

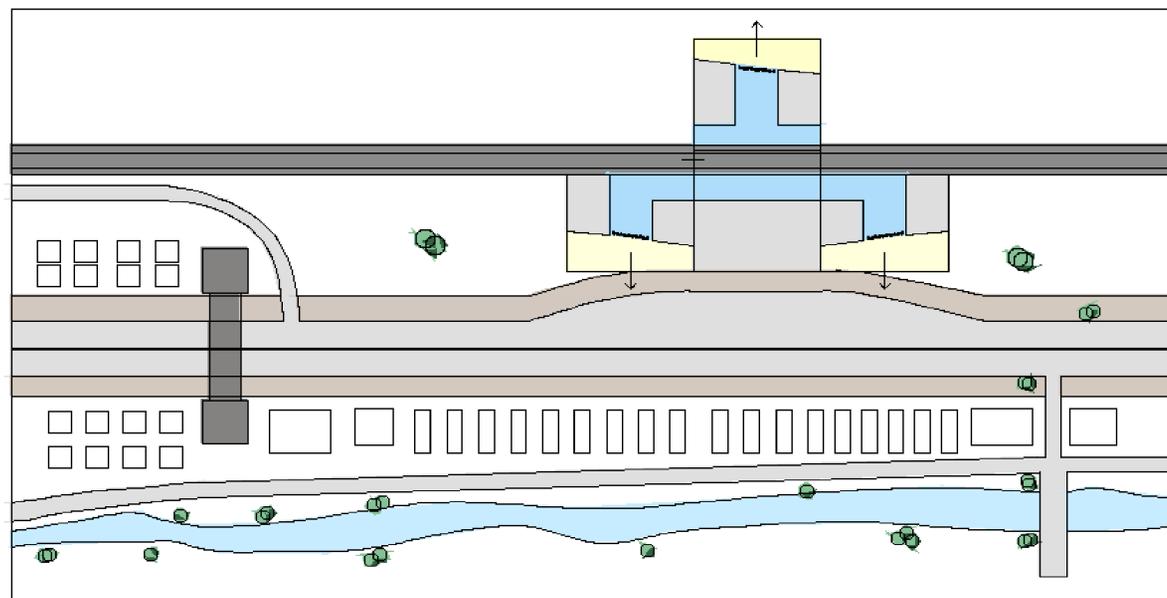
動機

都市部や地方の交通インフラにおける**無人駅**の導入が増加している。

多くの利点を持つ一方で、さまざまな課題が存在する無人駅の課題を

解決し効率的で利用者に優しい無人駅の設計方法を確立する。

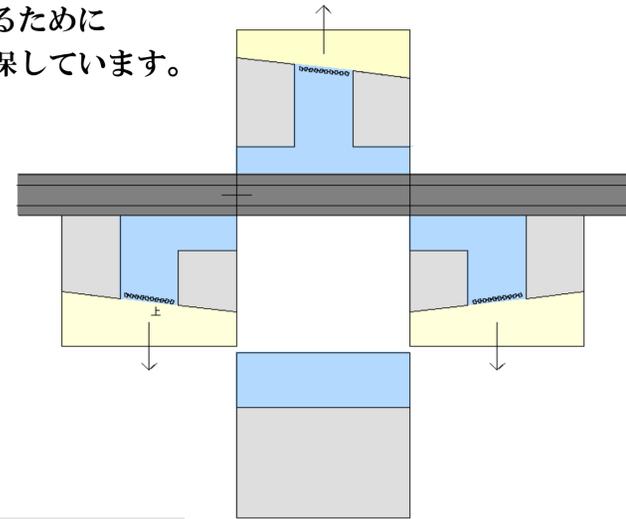
配置図



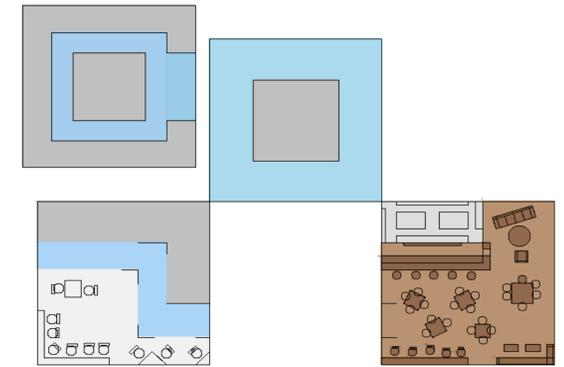
非常時には**避難所**として機能し、空いたスペースを備蓄品倉庫として活用することで、災害時の備えも万全。

一階平面図

混雑を解消するために
空間を**広く**確保しています。

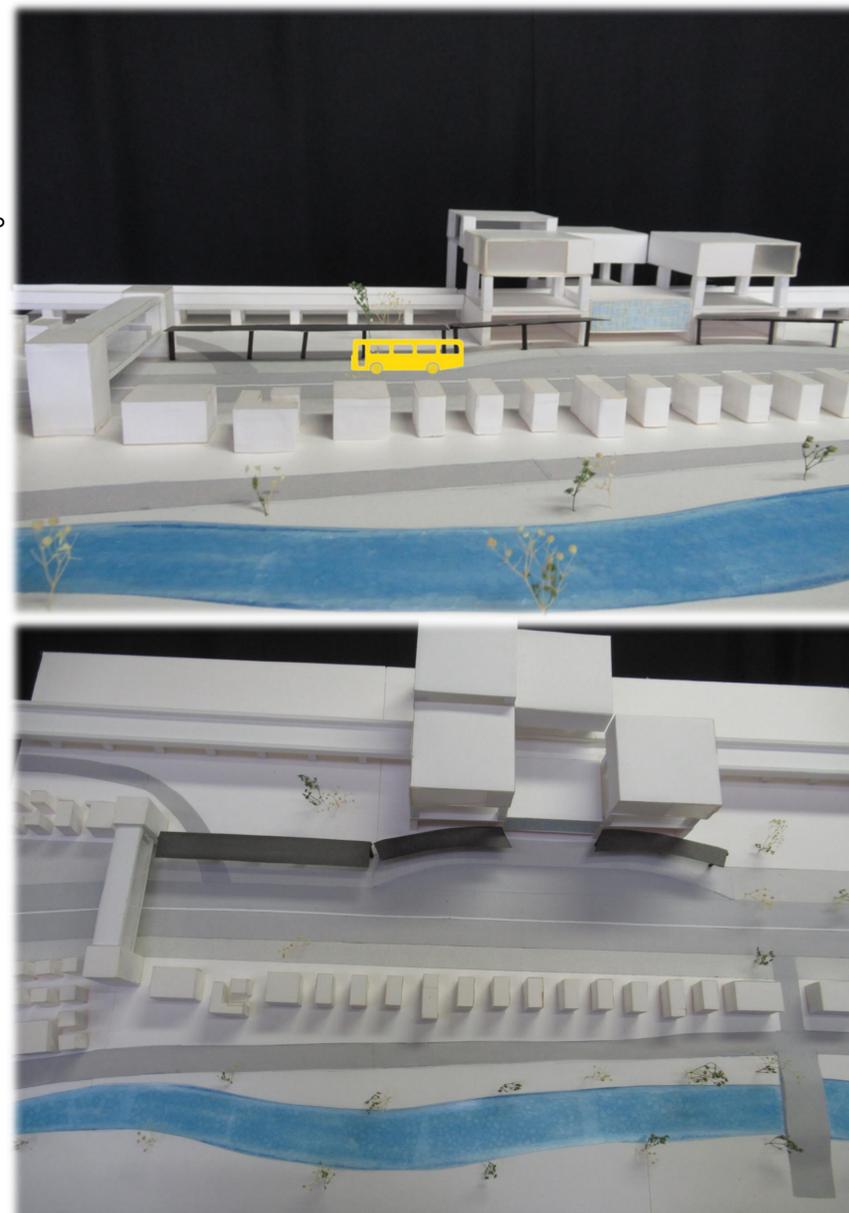


二階平面図



水色の場所は通路、灰色の場所は商業施設が入ります。
薄灰色の場所は休憩スペースになっています。

模型写真



COPILOTによるデザイン



